

氏名	Sabina Mahmood
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3309号
学位授与の日付	平成11年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Association of Fatty Liver with Increased Ratio of Visceral to Subcutaneous Adipose Tissue in Obese Men (肥満男性における脂肪肝と内臓/皮下脂肪比の増大)
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 青山 英康 教授 槇野 博史

学位論文内容の要旨

内臓脂肪の増加と脂肪肝の間の関連を明らかにするため、肥満指数 (BMI) 22 kg/m^2 以上の男性 46 名、女性 36 名について、臍断面および最大肝、脾面積が得られる CT 像を撮影し、Tokunaga らの方法に従って内臓脂肪/皮下脂肪比 (V/S 比) と脾の CT 値に対する肝の CT 値の比 (CT-L/CT-S) を求め、相互の関連性を検討した。男性における V/S 比と CT-L の相関係数は $-0.299 (P < 0.05)$ で V/S 比と CT-L/CT-S 比のそれは $-0.335 (P < 0.05)$ と大きくなり、脂肪肝と内臓脂肪の増加の間に有意の関連が見られた。BMI に対して調整を行った V/S 比と CT-L/CT-S 比の偏相関係数は $-0.485 (P < 0.05)$ と更に大きくなり、一般的な肥満指数の BMI は交絡因子であることが示された。CT-L/CT-S 比 1.0 以下の脂肪肝と V/S 比 1.0 以上の内臓脂肪肥満のオッズ比は 3.25 (信頼区間: 1.02 ~ 9.39) で両者の間に有意な関連性が示された。女性ではこの様な関係は見られなかった。以上より CT-L/CT-S 比は CT-L よりも脂肪肝の指標として優れ、男性において、内臓脂肪の増加は肝脂肪の増加と密接に関連していることが明らかとなった。

論文審査結果の要旨

本研究は、内臓脂肪の増加と脂肪肝の間の関連を明らかにするため、肥満指数 (BMI) 22 kg/m^2 以上の男性 46 名、女性 36 名について、臍断面および最大肝、脾面積が得られる CT 像を撮影し、Tokunaga らの方法に従って内臓脂肪/皮下脂肪比 (V/S 比) と脾の CT 値に対する肝の CT 値の比 (CT-L/CT-S) を求め、相互の関連性を検討したものである。その結果、男性における V/S 比と CT-L の相関係数は $-0.299 (P < 0.05)$ で V/S 比と CT-L/CT-S 比のそれは $-0.335 (P < 0.05)$ と大きくなり、脂肪肝と内臓脂肪の増加の間に有意の関連が見られるなど興味ある成績を得ている。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。